

# データ入稿の手引き〔配布版〕

---

For sending manuscripts to a printing office

## 〔QuarkXPress編〕



感謝を込めて情報発信喜びと感動を創造する

**晃南印刷株式会社**

## 入稿対応バージョン

- ◆お客様がMac OS 9以下環境  
Version4.1 (3.3の場合は要事前連絡)
- ◆お客様がMac OS X環境  
Version6.5
- ◆お客様がWindows OS環境  
Version6.5

## データ作成時の基本

- ◆〔ドキュメントサイズ〕は原則として〔印刷物の仕上がりサイズ〕で設定 [c\\_point01](#)
- ◆〔新規〕ドキュメント作成時に〔ペラ〕〔見開き〕を正しく設定する [c\\_point02](#)  
プルダウン〔ファイル〕→〔新規〕→〔プロジェクト〕→〔新規プロジェクトウインドウ〕の〔見開き〕のチェックボックス
- ◆〔縦組み〕〔横組み〕を正しく設定 [c\\_point03](#)
- ◆〔XTension〕を使用する場合は当社に同じ〔XTension〕が必要。  
[c\\_point04](#)  
※事前に当社に確認ください。
- ◆〔モノクロ2階調〕以外の〔TIFF画像〕を貼り込む場合〔画像ボックス〕の〔背景色〕を〔白〕に設定 [c\\_point05](#)
- ◆〔文字飾り〕は使用しない [c\\_point06](#)
- ◆〔ブレンド〕はサイズが大きい(使用範囲が広い)と出力エラーになる [c\\_point07](#)
- ◆〔EPSファイルでページ保存〕で作成した〔EPSデータ〕はそのまま使用しない [c\\_point08](#)
- ◆〔セクション〕を使つての〔自動ノンブル〕は、ページの追加や削除、移動等で〔ノンブルのズレ〕が発生することがあるので、必ず確認をする [c\\_point09](#)
- ◆貼り込める画像は〔Photoshop〕は〔TIFF〕か〔EPS〕、〔Illustrator〕は〔アウトライン化〕された〔EPS〕のみ [c\\_point10](#)
- ◆ビットマップ画像の拡大縮小は解像度が変わってしまうため、スキャンし直すか、〔Photoshop〕等で拡大・縮小処理してから貼り込む [c\\_point11](#)
- ◆ビットマップ画像を含まない〔Illustrator EPS〕ファイルは拡大・縮小が可能ですが、線幅には注意が必要 [c\\_point12](#)
- ◆〔ヘアライン〕は使用しない [c\\_point13](#)
- ◆〔ボックス〕ごとの〔印刷しない〕や〔画像を印刷しない〕の指定は使用しない [c\\_point14](#)
- ◆〔ドキュメント〕上に〔画像〕を貼り込んだあとで、〔Illustrator〕や〔Photoshop〕等でその画像を変更した場合は必ずリンクしなおす [c\\_point15](#)
- ◆〔ドキュメント〕上に〔画像〕を貼り込んだあとで、〔モノクロ2階調〕画像を〔グレースケール〕画像に変更して〔上書き保存〕すると、自動更新をだけではモードが変更されないので、手動で画像をリンクしなおす [c\\_point16](#)

## ファイル保存に関して

- ◆保存時の〔ファイル名〕は必ず〔半角英数小文字 (Win:8文字以内、Mac:16文字以内)〕+拡張子〔.qxd〕 [c\\_point17](#)
- ◆不要な〔オブジェクト〕は必ず削除する [c\\_point18](#)
- ◆プルダウン〔補助〕→〔使用状況〕→〔フォント〕で使用フォントを確認 [c\\_point19](#)
- ◆プルダウン〔補助〕→〔使用状況〕→〔画像〕で使用画像を確認。  
[c\\_point20](#)
- ◆〔バージョンダウン〕の保存はしない [c\\_point21](#)

## Check List QuarkXPress

## データ作成時の基本 チェック項目

〔ドキュメントサイズ〕は原則として〔印刷物の仕上がりサイズ〕で設定 <b>c_point01</b>	
〔新規〕ドキュメント作成時に〔ペラ〕〔見開き〕を正しく設定する <b>c_point02</b>	
〔縦組み〕〔横組み〕を正しく設定 <b>c_point03</b>	
〔XTension〕を使用する場合は当社に同じ〔XTension〕が必要。 <b>c_point04</b>	
〔モノクロ2階調〕以外の〔TIFF画像〕を貼り込む場合〔画像ボックス〕の〔背景色〕を〔白〕に設定 <b>c_point05</b>	
〔文字飾り〕は使用しない <b>c_point06</b>	
〔ブレンド〕はサイズが大きい(使用範囲が広い)と出力エラーになる <b>c_point07</b>	
〔EPSファイルでページ保存〕で作成した〔EPSデータ〕はそのまま使用しない <b>c_point08</b>	
〔セクション〕を使つての〔自動ノンブル〕は、ページの追加や削除、移動等で〔ノンブルのズレ〕が発生することがあるので、必ず確認をする <b>c_point09</b>	
貼り込める画像は〔Photoshop〕は〔TIFF〕か〔EPS〕、〔Illustrator〕は〔アウトライン化〕された〔EPS〕のみ <b>c_point10</b>	
ビットマップ画像の拡大縮小は解像度が変わってしまうため、スキャンし直すか、〔Photoshop〕等で拡大・縮小処理してから貼り込む <b>c_point11</b>	
ビットマップ画像を含まない〔Illustrator EPS〕ファイルは拡大・縮小が可能です。線幅には注意が必要 <b>c_point12</b>	
〔ヘアライン〕は使用しない <b>c_point13</b>	
〔ボックス〕ごとの〔印刷しない〕や〔画像を印刷しない〕の指定は使用しない <b>c_point14</b>	
〔ドキュメント〕上に〔画像〕を貼り込んだあとで、〔Illustrator〕や〔Photoshop〕等でその画像を変更した場合は必ずリンクしなおす <b>c_point15</b>	
〔ドキュメント〕上に〔画像〕を貼り込んだあとで、〔モノクロ2階調〕画像を〔グレースケール〕画像に変更して〔上書き保存〕すると、自動更新をだけではモードが変更されないの、手動で画像をリンクしなおす <b>c_point16</b>	

## ファイル保存に関して チェック項目

保存時の〔ファイル名〕は必ず〔半角英数小文字(Win:8文字以内、Mac:16文字以内)〕+拡張子〔.qxd〕 <b>c_point17</b>	
不要な〔オブジェクト〕は必ず削除する <b>c_point18</b>	
プルダウン〔補助〕→〔使用状況〕→〔フォント〕で使用フォントを確認 <b>c_point19</b>	
プルダウン〔補助〕→〔使用状況〕→〔画像〕で使用画像を確認 <b>c_point20</b>	
〔バージョンダウン〕の保存はしない <b>c_point21</b>	